

Oracle GoldenGate Monitor®

リリース・ノート 11g

リリース 1 (11.1.1.1.0)

B65093-01(US P/N: E22500-01)

2011 年 9 月

ORACLE®

Oracle GoldenGate Monitor リリース・ノート 11g リリース 1 (11.1.1.1.0)

B65093-01

Copyright © 1995, 2011 Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクル社までご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントが、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供される場合は、次の Notice が適用されます。

U.S. GOVERNMENT RIGHTS Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are "commercial computer software" or "commercial technical data" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, the use, duplication, disclosure, modification, and adaptation shall be subject to the restrictions and license terms set forth in the applicable Government contract, and, to the extent applicable by the terms of the Government contract, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software License (December 2007). Oracle USA, Inc., 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

このソフトウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアは、危険が伴うアプリケーション（人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む）への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する場合、このソフトウェアを安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性（redundancy）、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したこと起因して損害が発生しても、オラクル社およびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

Oracle および Oracle GoldenGate Monitor は米国 Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の登録商標です。その他の名称は、他社の商標の可能性がります。

このソフトウェアおよびドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても一切の責任を負いかねます。

目次

リリース・ノート – 11gリリース 1 (11.1.1.1.0)	4
Oracle GoldenGate Monitor.....	4
Oracle GoldenGate Monitor Agent.....	4
Oracle GoldenGate Monitor Server.....	4
Oracle GoldenGate Monitor リポジトリ	4
ブラウザ・ユーザー・インタフェース	4
アラート	5
プロパティ	5
新しいパラメータ	5
ENABLEMONITORAGENT	5
ドキュメントの付加情報.....	5
インストールおよびアップグレード	6
既知の問題.....	6

リリース・ノート – 11gリリース 1 (11.1.1.1.0)

Oracle GoldenGate Monitor

次のコンポーネントは、既存の Oracle GoldenGate インスタンスの検出およびそれらに関する情報の表示に使用します。

Oracle GoldenGate Monitor Agent

Oracle GoldenGate Monitor と連携させるには、ご使用の Oracle GoldenGate インスタンスがリリース 11.1.1.1.1 以降であることが必要です。これらの Oracle GoldenGate インスタンスには、インスタンスに関する情報を収集し、Oracle GoldenGate Monitor Server に送信する Java エージェントが含まれています。

Oracle GoldenGate Monitor Server

Oracle GoldenGate Monitor Server は、複数の Oracle GoldenGate インスタンスの監視を調整します。GoldenGate Monitor Server アプリケーションは、1) Oracle GoldenGate Monitor Agent からの情報を処理し、Web ブラウザに送信する、2) ユーザー、イベントによってトリガーされる通知、履歴および情報の表示を管理する Java アプリケーションです。

Oracle GoldenGate Monitor Server は、Java Management Extensions (JMX) を使用して 1 つ以上の Oracle GoldenGate インスタンスと通信します。各 Oracle GoldenGate インスタンスの Manager プロセスは、インスタンスに関する情報を Oracle GoldenGate Monitor Server に提供する Oracle GoldenGate Monitor Agent と関連付けられます。

Oracle GoldenGate Monitor リポジトリ

Oracle GoldenGate Monitor Server は、データベースを中央リポジトリとして使用し、ユーザーやグループ、プロセスのステータス、イベントおよび他の情報を格納します。インストール中にリポジトリ・データベースとして、Oracle 10g か 11g、MySQL 5.0 か 5.1、または SQL Server 2005 か 2008 を指定する必要があります。

ブラウザ・ユーザー・インタフェース

Oracle GoldenGate Monitor では、ブラウザベースのグラフィカル・ユーザー・インタフェースを使用して Oracle GoldenGate インスタンスがリモートで監視されます。

ブラウザは、Microsoft Internet Explorer バージョン 7 か 8、または Mozilla Firefox バージョン 3.0 以降であることが必要です。JavaScript および Cookie が有効であり、ブラウザから Oracle GoldenGate Monitor Server へのネットワーク接続が可能であることが必要です。

アラート

Oracle GoldenGate Monitor アラートは、Oracle GoldenGate コンポーネントに特定の状態が存在する場合に通知を行います。たとえば、プロセスが停止した場合、または特定のラグのしきい値に達した場合に通知されるようリクエストできます。メッセージに含まれる情報はユーザーが選択します。

Oracle GoldenGate Monitor が生成するアラートのタイプは、各ユーザーが指定します。アラートは、Simple Network Management Protocol (SNMP) を使用したデータグラム形式で電子メール・アカウントに送信することも、コマンドラインへのスクリプトか実行可能ファイルの配信をトリガーすることもできます。

プロパティ

monitor.properties ファイルには、Oracle GoldenGate Monitor Server とエージェントとの通信、JMX Server の特性、および使用されるアラート通知のタイプを構成するプロパティが含まれます。

Config.properties には、エージェントと Oracle GoldenGate Monitor Server 間の通信を構成するプロパティが含まれています。

新しいパラメータ

Oracle GoldenGate Monitor をサポートするために、Oracle GoldenGate のコア製品に次の新しいパラメータが追加されました。

ENABLEMONITORAGENT

ENABLEMONITORAGENT は、Oracle GoldenGate Monitor Agent を有効化する GLOBALS パラメータです。これにより、有効化されたエージェントと Oracle GoldenGate Monitor Server 間の通信が開始されます。

ドキュメントの付加情報

この項には、『Oracle GoldenGate Monitor 管理者ガイド』の付加情報が記載されています。ドキュメントの出版後に製品またはドキュメントに変更が加えられたために、ドキュメントに記載されていない項目が含まれています。

今回は、『Oracle GoldenGate Monitor 管理者ガイド』に記載されていない項目はありません。

インストールおよびアップグレード

Oracle からダウンロードされるインストール・ファイルは gzip を使用して圧縮されておらず、標準の .zip ファイルです。ダウンロードされたものを解凍するには、zlib ZIP ユーティリティを使用してください。

このユーティリティは<http://ftp.bsi2.com/pub/oss/ZIP.tar.Z>からダウンロードできます。

このユーティリティに関する追加情報は、<http://ftp.bsi2.com/pub/oss/ZIP.README>を参照してください。

Oracle GoldenGate Monitor は、グラフィカル・インストーラまたはコマンドライン・インストーラを使用してインストールできます。これらのインストーラの実行方法の詳細は、『Oracle GoldenGate Monitor 管理者ガイド』を参照してください。

既知の問題

Oracle GoldenGate Monitor Server のリリース 11gR1 (11.1.1.1.0) :

- Internet Protocol version 5 (IPv5) はサポートされていません。
- 少なくとも 2GB の RAM が割り当てられている場合、1 つのインスタンスで最大 50 プロセスの実行が可能な Oracle GoldenGate インスタンスが最大 20 サポートされます。
- 次の監視はサポートされていません。
 - GGSCI から実行された初期ロードおよび特別なタスクのプロセス
 - Oracle GoldenGate for Java および Flat File アダプタ
 - DB2 z/OS 上で実行されている Oracle GoldenGate インスタンス
 - HP NonStop 上で実行されている Oracle GoldenGate インスタンス
- 次の場合に、同一システム上での Oracle GoldenGate Veridata と Monitor のインストールがサポートされます。
 - どちらでも同じ Oracle スキーマがリポジトリとして使用されていない。
 - どちらでも同じ SQL Server データベースがリポジトリとして使用されていない。
 - どちらでも同じ MySQL データベースがリポジトリとして使用されていない。
- 次の状況において例外が生成されています。
 - #10385371: 「Data」タブおよび「Alerts」タブを削除すると、ユーザー・インタフェースで例外が生成されます。これは、ユーザー・インタフェースがアイドル状態で、プロセスおよび Manager を停止し、削除を試行する前に検出されたソリューションがいくつか存在する場合に発生します。

Oracle GoldenGate Monitor リリース・ノート

- #11064254: 「Historical Data」タブから表示されたツリー内でのホスト、エージェント、配信およびソリューション・データの間合せ後、エージェントの削除を試行するときに例外が生成されます。
- #11907212: 同じインスタンスを複数検出した 2 つのユーザー・インタフェースを使用している場合、Capture または Delivery オブジェクトが 1 つのユーザー・インタフェースで選択されているときに、もう 1 つのユーザー・インタフェースで同じオブジェクトを削除すると例外が生成されます。